

[曲名] Sera di Luna

月の夜

[曲種] mazurka

マズルカ

[作曲者] Vincenzo Billi

ヴィンツェンツォ・ビルリ

[編曲者] Jiro Nakano

中野 二郎

作者については第一集解説を参照されたい。

分析を受けねばならぬ月かなし

童話の月よ 詩歌の月よ

本曲が生まれた頃はまだ汽車電車が走り初めて間もない頃で、ロマンティストにとっては月は何かにつけ夢をかきたてる対象であった。

作者は非常な多作家で必ずしも原曲の楽器編成が唯一つの表現形態と考えてのことではなかったように思われる。

作品番号は363番まで判明しているが実際はどれだけあったか解らない。

本曲も一ときに書いたふしがあり、むしろ推敲を重ねたものより魅惑的なところがある。

月の夜と云っても夕べ（宵）に近い頃で深更でなく人の気配のある頃を指す。

一体に我々日本人にとって三拍子は苦手で、段落や思わぬところに休止符があると一拍食っても平然たる人をよく見るが、

わけでもマズルカの調子は難しい。

1969年11月15日発行

イタリアのマンドリンアンサンブル佳曲百曲集第二集より